

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 27 年 7 月 23 日 (2015.7.23)

【公表番号】特表 2014-521475 (P2014-521475A)  
【公表日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)  
【年通号数】公開・登録公報 2014-046  
【出願番号】特願 2014-525030 (P2014-525030)  
【国際特許分類】

**A 6 1 F 5/445 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 F 5/445

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 5 日 (2015.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ストーマからの身体の老廃物を受け入れるパウチ入口、及びパウチ出口を含むパウチと

、

前記パウチ出口に取り付けられている平坦な排出タップであって、少なくとも 1 つの入口、出口、及び前記身体の老廃物が前記パウチから流れ出るための経路を提供する内腔を有する排出タップと

を備え、

該排出タップは、前記内腔のサイズが調整可能であるように構成されているオストミー器具。

【請求項 2】

前記排出タップは概ね平坦な輪郭を有し、前記排出タップは、前記パウチ出口に嵌まるように構成されている上部と、底部とを含み、前記内腔は、前記上部の内面及び前記底部の内面によって画定され、前記少なくとも 1 つの入口は前記上部に画定され、前記出口は前記底部の外周端に画定され、前記底部は扁平な円筒形状を有し、緩んだ状態では、前記底部の幅は該底部の厚さよりも大きい、請求項 1 に記載のオストミー器具。

【請求項 3】

前記底部の前記厚さに対する前記幅の比は、緩んだ状態では 2 よりも大きい、請求項 2 に記載のオストミー器具。

【請求項 4】

前記底部の前記厚さに対する前記幅の比は、緩んだ状態では 4 よりも大きい、請求項 3 に記載のオストミー器具。

【請求項 5】

前記パウチは、身体側壁と、外側壁と、濾過セクションを含む中央壁とを有するデュアルチャンバーパウチであり、前記身体側壁と、前記外側壁と、前記中央壁とは、身体側チャンバー及び外側チャンバーを画定するように、それらの外周縁に沿って共にシールされ、前記身体側チャンバーは、前記身体側壁と前記中央壁との間に画定され、前記外側チャンバーは、前記外側壁と前記中央壁との間に画定され、前記身体側壁は前記パウチ入口を含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のオストミー器具。

【請求項 6】

前記濾過セクションは複数の開口を含み、前記濾過セクションは、前記身体の老廃物中の固形物及び液体を分離するように構成されており、前記液体は、前記身体側チャンバーから前記濾過セクションを通して前記外側チャンバー内へ流れ、一方で、前記固形物の実質的に全ては前記身体側チャンバー内に留まる、請求項 5 に記載のオストミー器具。

【請求項 7】

前記複数の開口は、複数のミシン目又は複数のスリットである、請求項 6 に記載のオストミー器具。

【請求項 8】

前記濾過セクションは複数の円形の開口を含み、各円形の開口は 2 mm ~ 4 mm の直径を有する、請求項 6 に記載のオストミー器具。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つの入口は第 1 の入口及び第 2 の入口を含み、前記第 1 の入口は、前記外側チャンバー内の前記身体の老廃物を受け入れるように構成されており、前記第 2 の入口は、前記身体側チャンバー内の前記身体の老廃物を受け入れるように構成されており、前記第 2 の入口は、ユーザーによって開かれるまで閉じた位置にある、請求項 5 ~ 8 のいずれか一項に記載のオストミー器具。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 つの入口は、第 1 の入口及び第 2 の入口を含み、前記排出タップは、前記パウチ出口に配置された上部を含み、該上部は、第 1 のシール面と、第 2 のシール面と、第 3 のシール面とを含み、前記第 1 のシール面は、前記外側壁の内面に、前記パウチ出口に近接して取り付けられ、前記第 2 のシール面は、前記中央壁の表面に、前記パウチ出口に近接して取り付けられ、前記第 3 のシール面は、前記身体側壁の内面に取り付けられ、前記第 1 の入口は、前記第 1 のシール面と前記第 2 のシール面との間に画定され、前記第 2 の入口は、前記第 2 のシール面と前記第 3 のシール面との間に画定される、請求項 5 ~ 8 のいずれか一項に記載のオストミー器具。

【請求項 11】

前記上部は、第 1 のリップ及び第 2 のリップを含み、前記第 2 のシール面は、前記第 1 のリップの外面に形成され、前記第 3 のシール面は、前記第 2 のリップの外面に形成され、前記第 2 の入口は、前記上部リップと前記底部リップとの間に画定され、前記第 1 のリップ及び前記第 2 のリップは、前記第 2 の入口が閉じた位置にあるように、互いに接触し、前記第 1 のリップ及び前記第 2 のリップは、前記上部の縁に沿って圧力を加えることによって開くように構成されており、前記第 1 の入口は、前記第 1 のシール面と前記第 2 のシール面との間に配置された開口によって画定される、請求項 10 に記載のオストミー器具。

【請求項 12】

前記排出タップの前記出口は、前記身体の老廃物を容器まで運ぶチューブに接続され、前記外側チャンバー内の前記液体は、前記第 1 の入口を通して流れ、前記チューブを介して前記容器まで連続的に運ばれ、前記固形物の実質的に全ては、前記第 2 の入口が開くまで前記身体側チャンバー内に留まる、請求項 11 に記載のオストミー器具。

【請求項 13】

前記チューブは、アダプターを介して前記排出タップに接続され、前記アダプターは、前記排出タップの前記出口に嵌まるように構成されている、請求項 12 に記載のオストミー器具。

【請求項 14】

前記排出タップは、該排出タップの縁に圧力を加えることによって、前記内腔のサイズが増大するように構成されている、請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載のオストミー器具。

【請求項 15】

前記内腔のサイズ及び前記出口のサイズは、前記底部の幅に沿って圧力を加えることによって増大する、請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載のオストミー器具。